

表紙，奥付，目次

雑誌名	国立国語研究所論集
号	15
発行年	2018-07
URL	http://id.nii.ac.jp/1328/00001604/

国立国語研究所論集

NINJAL Research Papers

15

2018年7月

July 2018

1. 刊行

国立国語研究所（以下、「研究所」という。）における研究活動の活性化と成果の公表及び所内若手研究者育成を目的として、『国立国語研究所論集』（英語名“NINJAL Research Papers”）を各年度に2回（原則として、7月と1月）発行する。

2. 投稿資格

投稿時に次のいずれかに該当する者とする。ただし、共著の場合は第1著者が次のいずれかに該当すればよい。

(1) 研究所の研究教育職員・研究員

(2) 研究所の客員教員，非常勤研究員・プロジェクト研究員，外来研究員，共同研究プロジェクトに参加している共同研究員（外来研究員及び共同研究員の場合は，それぞれ，受入れ教員及び参加している共同研究プロジェクトのリーダーに相談の上，投稿すること。）

(3) 研究所の名誉教授

(4) その他，国立国語研究所論集編集委員会（以下、「編集委員会」という。）が認めた者

(注)上記(1)(2)に該当する者が退職または任期終了した場合は，その後5年間は投稿資格を有するものとする。
ただし，年度途中の退職または任期終了は，その年度末に発生したものとみなす。

3. 投稿時期 投稿原稿の締切は，毎年3月，6月，9月，12月の各10日とする。

4. 論文内容

(1) 投稿は未公開のオリジナルな原稿に限る。他誌に投稿中の原稿は投稿できない。

(2) 研究所の設置目的に沿う内容なら，理論・記述・調査・実験等の手法や分析の枠組みは問わない。ただし，「2. 投稿資格」の(2)に該当する者が投稿する場合は，内容は研究所在職中の研究内容・成果に限るものに限る。

(3) 研究所の研究教育職員・研究員及び非常勤研究員・プロジェクト研究員が投稿する場合は，原則としてNINJALサロンで発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。また，共同研究員が投稿する場合は，原則として，参加している共同研究プロジェクトの研究発表会で発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。

(4) 共同研究員が投稿する場合は，論文の内容は，共同研究プロジェクトの研究内容及び研究成果であること。（後略）

(5) 外来研究員が投稿する場合は，論文の内容は，滞在期間中の研究題目に関する研究内容及び研究成果であること。（後略）

(6) 研究の中間報告，既発表論文のデータ補足的な報告も可とする。

5. 原稿のカテゴリー 「論文」のみとし，研究ノートや書評紹介は含めない。

6. 原稿の書式等（略）

7. 原稿提出方法（略）

8. 著作権

著者は，原稿を投稿する際に，以下を承諾したものとする。

- ・個々の論文の著作権は著者に帰属する。
- ・著者は，論文の複製権と公衆送信権の行使を研究所に許諾する。
- ・その他「国立国語研究所における編集著作物の取扱いについて」に定められている事項。

なお，他の著作物に掲載された図版の転載等にかかわる著作権処理，及びデータの利用・公開にかかわる関係者の許諾取得は，著者の責任において行うこと。

9. 採否 原稿の採否は，編集委員会が査読の上，決定する。

10. 校正（略） 11. 稿料（略） 12. 抜刷等（略）

「投稿・執筆要領」の全文および『国立国語研究所論集』オンライン版は、
国立国語研究所ウェブサイトをご覧ください。

Please visit the NINJAL website. You can download (i) the entire text of the guidelines for
manuscript submission and the style sheet, and (ii) full-text PDF files published in *NINJAL*
Research Papers.

<https://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/>
<https://repository.ninjal.ac.jp/>

編集委員会 Editorial Board *委員長 Editor-in-chief

福永由佳 (FUKUNAGA Yuka)

井上文子 (INOUE Fumiko)

三井はるみ (MITSUI Harumi)

新野直哉 (NIINO Naoya)

山崎 誠 (YAMAZAKI Makoto)*

国立国語研究所論集 第15号

NINJAL Research Papers No. 15

2018年7月31日 発行

編 集 国立国語研究所論集編集委員会

発 行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

TEL: 042(540)4300 (代表)

<https://www.ninjal.ac.jp/>

E-mail: papers@ninjal.ac.jp (編集委員会)

印刷所 中西印刷株式会社

- 修辭ユニット分析における脱文脈化指数の妥当性の検証
浅原正幸・田中弥生
- 日本語学習者の作文執筆過程における自己修正理由
——上級中国人学習者，上級韓国人学習者，日本語母語話者の作文の比較から——
布施悠子・石黒圭
- 「は」の後接から見るとりたて詞の否定呼応現象
井戸美里
- テキストからの対象物認識に有用な情報提示順序
——動物の説明文を用いた調査例——
加藤祥
- 『日本語日常会話コーパス』データ公開方針
——法的・倫理的な観点からの検討を踏まえて——
小磯花絵・伝康晴
- 日本語学習者の習熟度別に見たフィラーの分析
小西円
- 日本語従属節の意味分類基準策定について
——「鳥バンク」節間意味分類体系再構築の提案——
松本理美
- 英語アルファベットによる日本語音声表記
野田尚史・中北美千子
- 資料画像公開・利用の国際化と高度化の取り組み
——「日本語史研究資料 [国立国語研究所蔵]」の事例——
高田智和・福山雅深・堤智昭・小助川貞次
- 『日本語日常会話コーパス』における転記の基準と作成手法
白田泰如・川端良子・西川賢哉・石本祐一・小磯花絵
- BCCWJ 教科書データにおける複合辞の教科別使用状況
——国語教育を視野に——
渡辺由貴

目次 Contents

修辞ユニット分析における脱文脈化指数の妥当性の検証 浅原正幸・田中弥生 Validation of the Degree of Decontextualisation in Rhetorical Unit Analysis ASAHARA Masayuki and TANAKA Yayoi	1
日本語学習者の作文執筆過程における自己修正理由 ——上級中国人学習者, 上級韓国人学習者, 日本語母語話者の作文の比較から—— 布施悠子・石黒 圭 The Intention of Self-Revision in JSL Learners' Writing Process: A Comparison between Native Japanese Speakers and Advanced Chinese and Korean JSL Learners FUSE Yuko and ISHIGURO Kei	17
「は」の後接から見るとりたて詞の否定呼応現象 Negative Polarity of <i>Toritateshi</i> When the Contrastive <i>wa</i> is Adjoined 井戸美里 IDO Misato	43
テキストからの対象物認識に有用な情報提示順序 ——動物の説明文を用いた調査例—— 加藤 祥 Optimal Information Ordering for Object Recognition in Texts KATO Sachi	55
『日本語日常会話コーパス』データ公開方針 ——法的・倫理的な観点からの検討を踏まえて—— 小磯花絵・伝 康晴 A Guideline on the Release of the <i>Corpus of Everyday Japanese Conversation</i> : From the Viewpoint of Legal and Ethical Issues KOISO Hanae and DEN Yasuharu	75
日本語学習者の習熟度別に見たフィラーの分析 Analysis of Fillers Used by Japanese Language Learners According to Their Level of Proficiency 小西 円 KONISHI Madoka	91
日本語従属節の意味分類基準策定について ——「鳥バンク」節間意味分類体系再構築の提案—— 松本理美 Establishing Semantic Classification Rules for Japanese Subordinate Clauses: Reconstructing the Tori-Bank Semantic Classification System MATSUMOTO Satomi	107

英語アルファベットによる日本語音声表記
Japanese Phonetic Notation Using the English Alphabet

野田尚史・中北美千子

NODA Hisashi and NAKAKITA Michiko 135

資料画像公開・利用の国際化と高度化の取り組み

——「日本語史研究資料 [国立国語研究所蔵]」の事例——

高田智和・福山雅深・堤 智昭・小助川貞次

Implementation of Image Disclosure System Using IIIF in NINJAL

TAKADA Tomokazu, FUKUYAMA Masami, TSUTSUMI Tomoaki
and KOSUKEGAWA Teiji 163

『日本語日常会話コーパス』における転記の基準と作成手法

白田泰如・川端良子・西川賢哉・石本祐一・小磯花絵

Criteria and Composition Method of Transcription for the Corpus of
Everyday Japanese Conversation

USUDA Yasuyuki, KAWABATA Yoshiko, NISHIKAWA Ken'ya,
ISHIMOTO Yuichi and KOISO Hanae 177

BCCWJ 教科書データにおける複合辞の教科別使用状況

——国語教育を視野に——

渡辺由貴

Compound Functional Expressions in School Textbook Data from the Balanced Corpus of
Contemporary Written Japanese: Importance for Japanese Language Education

WATANABE Yuki 195
